

## その他の機能

### LIXIL@見積navi連携

LIXIL@見積naviから出力したデータを、以下の手順で、RIKCADに取込むことができます。

#### 【注意】

RIKCAD9は「LIXIL@見積navi」非対応ですが、別の方法で、データ取込みできます。  
詳細は、FAQ最下段の【RIKCAD9の場合】欄を参照下さい

---

#### 【RIKCAD8以下の場合】

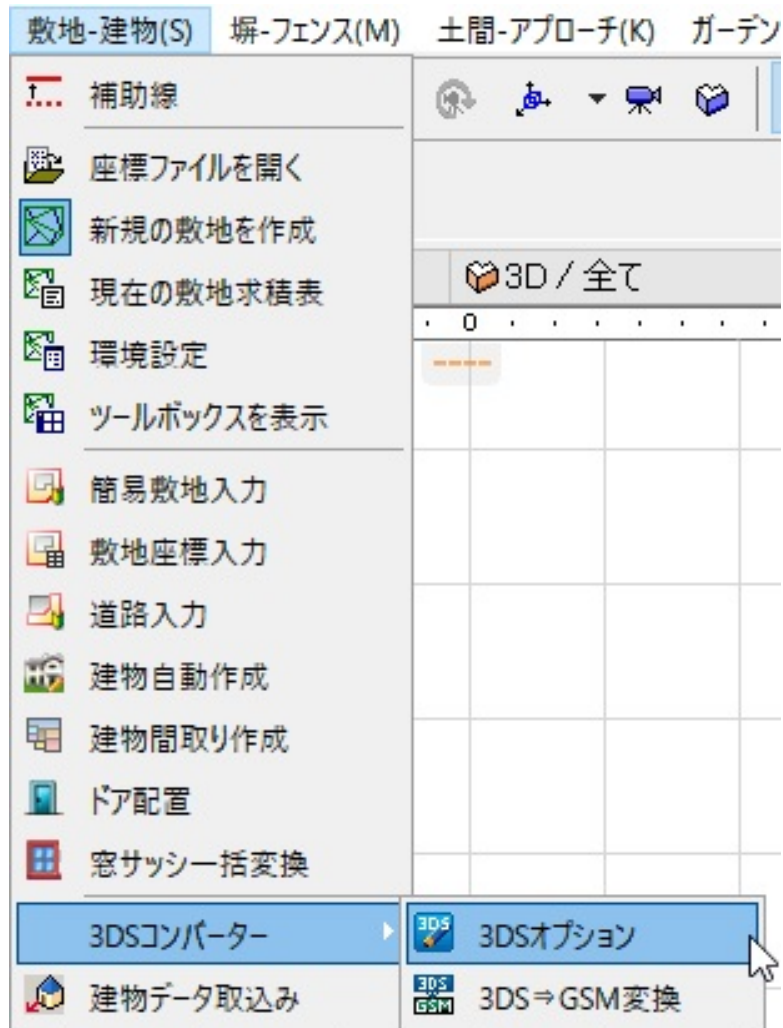
1. RIKCADのメニューバー、「メーカー」欄にある『LIXIL@見積navi連携』を実行します。

メニューバーに「メーカー」の項目がない、または、『LIXIL@見積navi連携』の項目がない場合、[LIXIL@見積navi連携を使いたい](#)を参照し、インストールを実施ください。

ファイル選択ダイアログより「@見積navi」より出力されたzipファイルを選択します。

2. メニューバー 「敷地-建物」(RIKCAD8) / 「作図-補助」(RIKCAD7以下) 3DSコンバーター/3DSオプションをクリックします。

## その他の機能



3. 設定画面が表示されますので、変換設定、図面単位を確認します。

## その他の機能

3DS⇒GSM変換

変換設定

x= x  
y= y  
z= z

図面単位: 1.000 mm

少数点設定: 5

配置設定

☒ 底辺をz=0に変換

☒ 重心を(x=0,y=0)に変換

☐ 必要時のみ重心を(x=0,y=0)に変換

ホットスポット設定

2Dのホットスポット設定:

☒ 境界線

☐ ゼロポイント

☒ 重心

☐ 最外側ポイント

3Dのホットスポット設定:

☒ 境界線

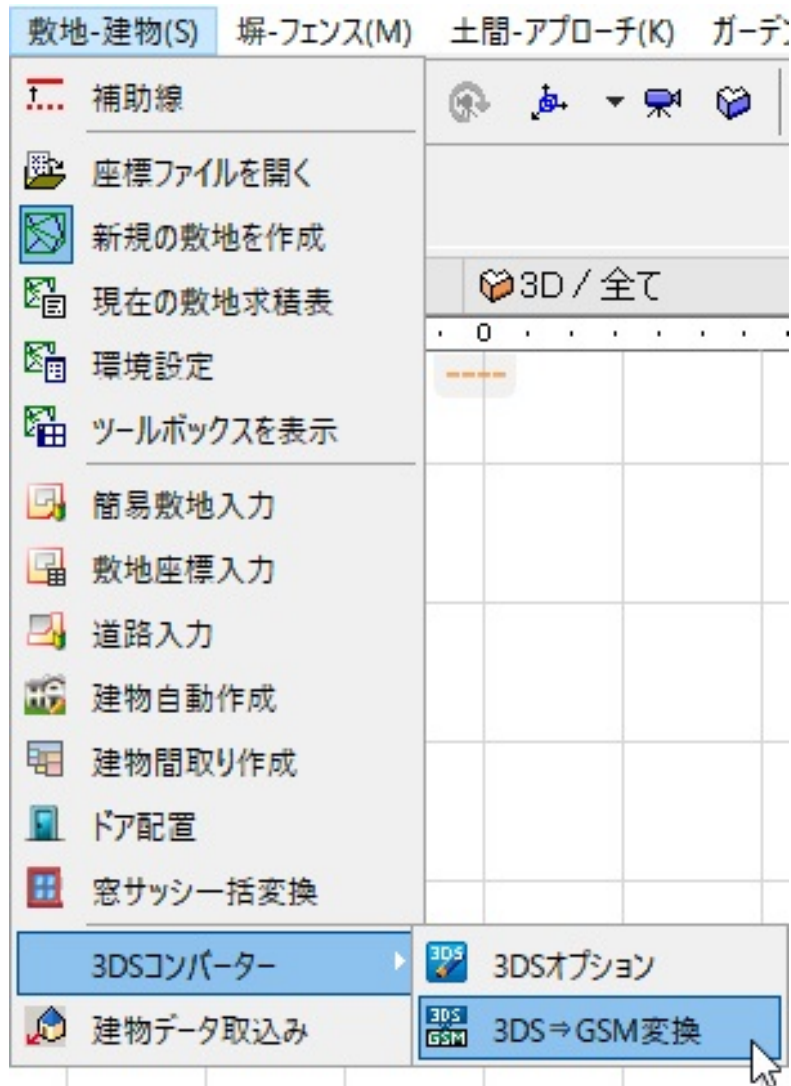
☐ ゼロポイント

☒ 重心

既定値に戻す キャンセル OK

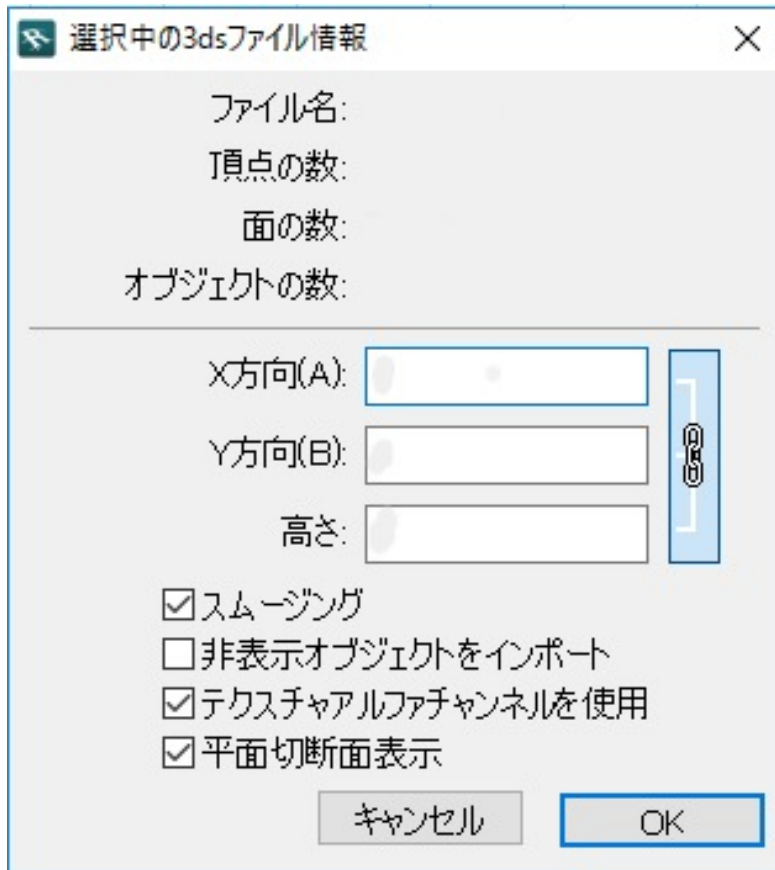
4. メニューバー 敷地-建物（作図補助） /3DS GSM変換をクリックします。

## その他の機能



5. 解凍先（マニュアル参照）にあるLIXILフォルダ内の3DSファイルを選択します。  
3DSのファイル情報が表示されるので、そのままOKボタンをクリックします。

## その他の機能

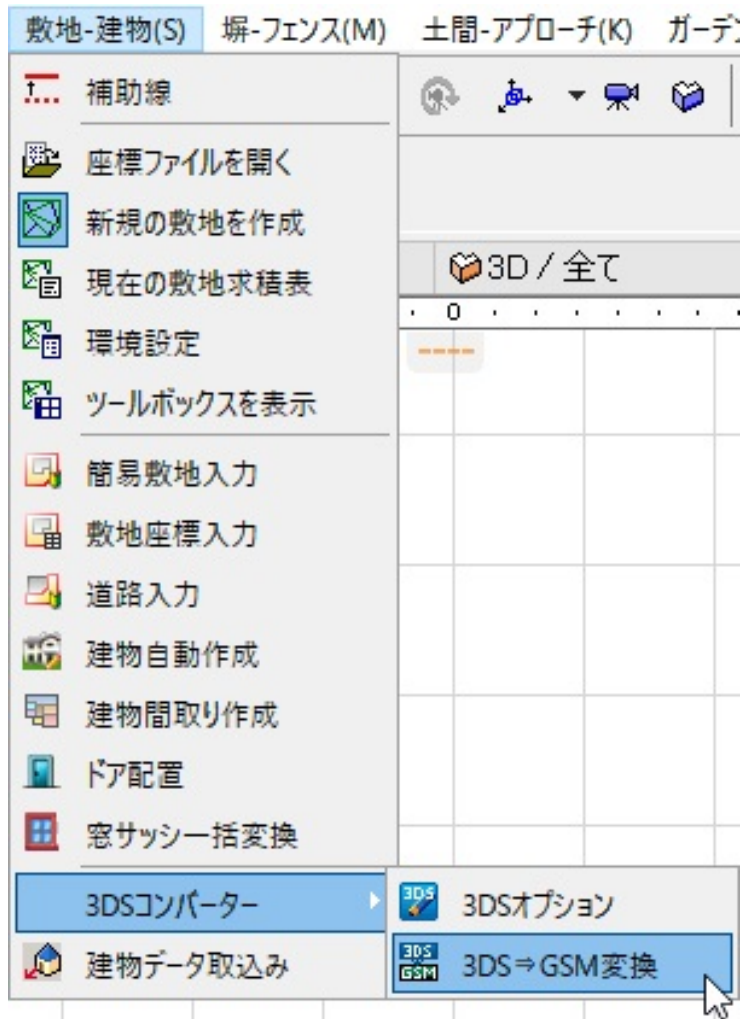


オブジェクトツールの埋め込みライブラリに商品が入ります。

### 【RIKCAD9の場合】

- 1.まず「@見積navi」より出力されたzipファイルをデスクトップ等に保存します。
- 2.1.の「@見積navi」より出力されたzipファイルを、右クリックし、「全て展開」「展開」をクリックし、zipファイルを解凍します
- 3.メニューバー 「建物」「3DSコンバーター」「3DS-GSM変換」をクリックします。

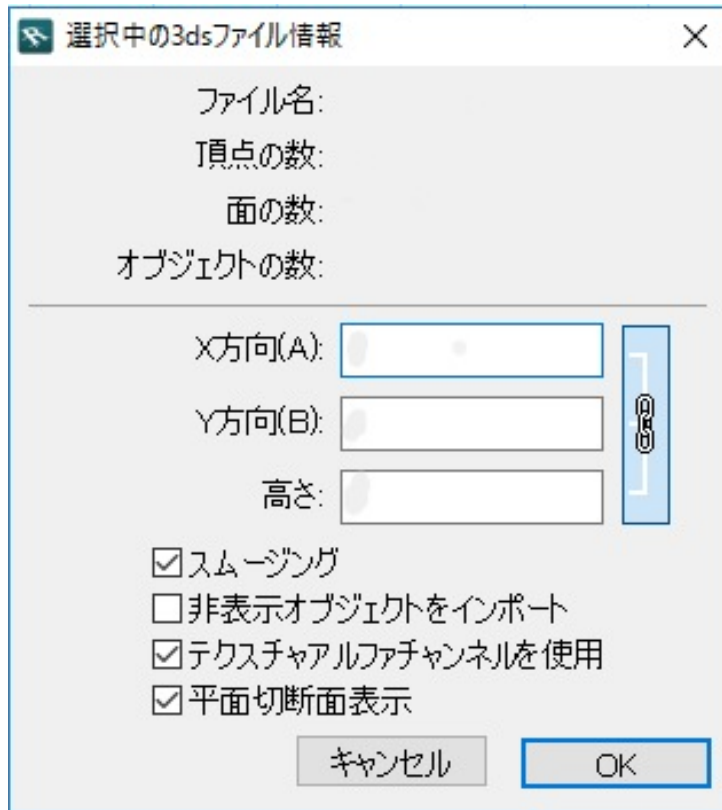
## その他の機能



4.先程、2.で解凍したフォルダの中の「.3ds」ファイルを選択します。

5.3DSのファイル情報が表示される為、そのまま「OK」ボタンをクリックします。

## その他の機能



選択中の3dsファイル情報

ファイル名:  
頂点の数:  
面の数:  
オブジェクトの数:

X方向(A):  
Y方向(B):  
高さ:

☒スムージング  
☐非表示オブジェクトをインポート  
☒テクスチャアルファチャンネルを使用  
☒平面切断面表示

キャンセル OK

6.自動的にデータ変換が終わった後、「...埋め込みライブラリに新規保存しました」表示が出る為、そのまま「OK」ボタンで画面を閉じます。

7.「オブジェクト」ツールの「埋め込みライブラリ」に商品が入る為、そこから配置できます

### 関連項目

- [LIXIL@見積navi連携を使いたい](#)
- [LIXIL@見積navi連携から取り込んだ商品が横倒しになる](#)

一意的なソリューション ID: #1761

製作者: ヘルプデスク

最終更新: 2019-09-10 17:13